

## IT 政策セミナーの開会にあたって

新潟県 IT & ITS 推進協議会会長 中野敬介

日頃より当協議会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。当協議会では、ここ数年の間多くの皆様にお集まり頂き IoT アイデアコンテストと同日に IT 政策セミナーを開催して参りましたが、今年度の IT 政策セミナーはオンラインによる開催ということになりました。

今年度のテーマは「デジタル変革期における DX」です。基調講演「DX を推進し、新たな地域社会の創出へ」では、南山大学の青山幹雄先生にご講演いただきます。特別講演「DX 認定制度を通じ、DX への新しい一歩へ」では、独立行政法人情報処理推進機構の三橋祐也様にご講演いただきます。また、特別講演「マイナンバーカードと既存制度の連携」では総務省から講師をお迎えしてご講演いただきます。現在大変注目を集めている DX のセミナーを聴講して頂き、DX に関連する様々な課題の解決、取り組みの活性化につなげて頂ければと思っております。

私は新潟大学において教育研究に従事しておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講義や研究室の学生とのディスカッションは非対面で行うことになりました。学会の発表も同様です。例年とは違う活動様式となりデジタルを最大限に活用した1年間になりましたので、その様子を少し紹介させていただきます。

新潟大学においては zoom オンライン会議システムによる非対面リアルタイム型講義が多かったと思います。私もこれで1年間講義しました。100名程度の講義だけでなく500名を超えた講義もあり、4月の段階ではオンラインで何が起こるのかもわからず不安もありましたが、システム的には特に大きな問題もなく講義を終えることができました。もちろん、教室での対面講義と同じようには行きませんから、チャットによる会話、ペン入力等、今迄はあまり使わなかったようなものも当たり前のように使っています。

また、新潟大学では以前から学務情報システムという WEB 上のシステムを利用してシラバス入力、成績入力等を行っていましたが、今年度はそれらに加えてレポートの提出、資料の配布、連絡通知など、教員と学生のやり取りのほとんどすべてをこのシステムで行うようになり、デジタル化が一気に進んだ感じです。大学における教育だけでなく、学会においても以前から論文誌等の出版物の電子化が進んでいましたが、今年度は研究集会も非対面・オンラインで開催されるようになりました。

このように新型コロナウイルスの影響により、様々な場面でデジタル化、オンライン化が進みましたし、今後はオンラインミーティングも当たり前になると思われれます。ただ、対面での講義や講演には、オンラインにはない緊張感があり、これは大変意味があるものかと思えます。ですから今後は両者の良いところを生かしたやり方を作っていくことが大事なのだらうと思えます。

それでは、IT 政策セミナー「デジタル変革期における DX」をオンラインでお楽しみ下さい。また、今後も当協議会の活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。